

乾燥の季節、火に近づきすぎないように注意！

着衣着火で毎年多くの事故が発生しています

<こんろ使用中の主な事例>

- ・鍋を取ろうと上半身をかがめた際に、こんろの火が衣服に引火した。
- ・こんろの奥にある調味料を取ろうとした際の衣服のわきの下に引火した。
- ・料理中にひらひらしたブラウスの袖に引火した。

<仏壇のろうそくの主な事例>

- ・供え物の花を替えようとしたところ、衣服に着火した。
- ・仏壇の掃除中にろうそくの火が袖に燃え移った。

<アドバイス>

●火に近づきすぎないようにしましょう。

鍋底から炎がはみ出さないよう適切な火力に調整し、「ながら掃除」など火のそばで作業するときは一度消火しましょう。

●服装や消毒用アルコールによる引火に注意しましょう。

料理をするときは、マフラーやストールは外し、袖口やすそが広がった衣服は避けましょう。消毒用アルコールが衣服に染み込んだ直後に火に近づくと着火する危険があります。

●万が一、着衣着火が起きたら「脱ぐ」「叩く」「水をかける」などで早急に消火してください。やけどを負った場合は、すぐに水で冷やし、医療機関を受診しましょう。



まもりん

北九州市立消費生活センター（ウェルとばた7F）	☎861-0999
小倉北相談窓口【小倉北区役所西棟1F】	☎582-4500
小倉南相談窓口【小倉南区役所3F】	☎951-3610
八幡西相談窓口【八幡西区役所コムシティ4F】	☎641-9782

※門司、若松、八幡東各窓口の面談による相談は事前予約が必要となります。
まずは消費生活センター☎861-0999へ電話でご相談ください。
消費者ホットライン☎^い188（あなたの地域の消費生活センターにつながります。）



みもりん